

条例

議案第39号
鶴ヶ島市役所出張所設置条例について

市民活動推進センター内に市役所出張所を設置します。

Q 今までの行政サービスコーナーとの違いは。

A 市民課長 住民票、印鑑証明、課税証明等の発行に加え、新たに印鑑登録ができ、戸籍の証明も発行する。また、委任状による第三者交付にも対応する。木曜日は、夜9時まで開く予定である。

議案第40号
職員の給与に関する条例等の臨時特別に関する条例について

国家公務員の給与に合わせ、市職員の給与を7月から来年3月まで、平均4・3割減額します。

Q 減額の理由と地方交付税との関係は。

A 人事課長 国の震災復興等に充てるため、地方公務員の給与の特例減額を前提に、地方交付税が約1億2000万円減額となることに対応する。



平成25年度一般会計補正予算(第1号)が可決されました。

公共施設自動販売機設置場所土地建物貸付収入

Q 公共施設への自動販売機の設置による収入は。

A 財政課長 入札により自動販

売機を設置する事業者を選定した。施設の貸付料を市の収益とするもので、貸付料約827万円、電気料約61万円の収益を見込んでいる。

道路交通安全対策事業

Q 工期と残地の有効活用は。

A 道路建設課長 電柱の移転時期を見ながら、工事を実施したい。残地は、一本松の地区計画区域内の地区整備を進めながら活用を考える。

富士見保育所改築事業

Q 事業の具体的な内容について。

A こども支援課 主幹 老朽化と耐震化に対応するため、栄小学校の敷地内に富士見保育所を移転する。立て替えるための設計費用を予算計上した。

環境教育施設共同活用整備事業

Q 事業内容とその対応について。

A 生活環境課長 養命酒製造(株)がメガソーラー建設に伴う地域貢献として、環境教育施設を設置する。市は、その施設の付帯設備の電気工事設計分を負担する。

市の考えを問う 一般質問

6月12日・13日・14日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。

子宮頸がんワクチン 接種の状況

金泉婦貴子 議員



Q 周知をしっかりと行っていく

質問一 HPV(ヒトパピローマウイルス)の接種状況は。

二 学校における周知は。

三 子宮頸がんワクチンの効力は。

四 副反応の実態と整備状況は。

五 任意接種から定期接種への移行に伴って生じた変化は。

答弁一(市長) 平成23年1月から

25年3月末日までの3回接種完了者は、6年度生まれが41・4割、

以下7年度が64・2割、8年度が65・0割、9年度が52・8割、10年度が44・9割、11年度が10・4割である。

二 保護者向けに予防接種のお知らせと注意事項を記載した文書を各中学校に配付依頼し、周知した。

三 ワクチンの接種効果について、厚生労働省やWHO(世界保健機関)では、HPVの持続的感染や、

がんに移行する前段階の病変の発生に予防効果があるとしている。

四 坂戸保健所管内の副反応事例は、失神が1件、気分が悪くなるが3件で、市内での報告はない。

五 定期接種では、市に予防接種法上の実施義務が発生し、保護者

には接種者に予防接種を受けさせる努力義務が生じる。健康被害が生じた場合、定期接種では救済の対象や補償額が充実している。

◎その他の質問 国際交流と地域づくりの推進について

